

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (東北)	良く なっている	コンビニ(店 長)	来客数の動き	・最盛期のため、売上が増加するとともに利益も確保 できている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・客からは生活が大変であるという話を聞かない。ま た、時間帯によるものの、客は途切れることなくタク シーに乗っている。
	やや良く なっている	一般小売店〔医 薬品〕(経営 者)	販売量の動き	・今月は天候も良く、それに伴い滋養強壮剤や経口補 水液などのドリンク類、日焼け止めやホワイトニング 化粧品がよく売れている。
		百貨店(営業担 当)	販売量の動き	・台風などの天候要因を除けば、売上は回復してきて いる。特に自社クレジットの売上が3か月前よりも伸 びてきており、顧客が戻ってきている。また、婦人服 についても、前年のブランド撤退による駆け込み需要 の反動減の影響がなくなっており、一時期に比べると 安定した売上となっている。
		コンビニ(エリ ア担当)	来客数の動き	・前年と比較して降雨量が少なく、飲料やアイスク リームといった冷たい商品の売上が伸びている。
		コンビニ(店 長)	お客様の様子	・今月に入ってから、以前は400円前後で推移してい た弁当が、500円前後の商品も売れてきている。わず かではあるが、デフレ路線からようやく脱却しつつあ るのではないかと。これが一時的なものかどうかは判断 しきれないが、悪い雰囲気はない。
		衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・お盆は、暦がそろいすぎたのか来客数が少なく大変 苦戦をしていた。しかし、例年であればお盆以降は気 温が落ち着くが、今年は比較的気温が高く蒸し暑かつ たため、夏物の買い足しなど服が売れる状況となっ ている。そのため、景況感是非常に良い。
		乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・新型車のイベント効果もあり、新車の販売量が上向 いてきている。
		乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・軽自動車の販売再開、また、新型車の販売により、 販売量が少し伸びている。
		住関連専門店 (経営者)	販売量の動き	・お盆の時期であり、仏壇、仏具の売行きが好調であ る。ただし、売れているものは比較的小型で安価なも のが多い。
		その他専門店 〔酒〕(経営 者)	販売量の動き	・不景気というイメージを払しょくできないままお中 元シーズンになり、単価や販売量への影響を懸念して いたが、結果としてはほぼ例年並みとなっている。普 段は消費を控えている客も、お盆期間は財布のひもが 緩くなり、飲食店への販売量や店頭でのお土産など による地酒の販売量がわずかではあるが良くなってい る。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・安価なメニューを廃止したことで来客数が減少して いたが、1年が経過して来客数は戻りつつある。
		旅行代理店(店 長)	お客様の様子	・熊本地震の風評被害もある程度払しょくされてお り、九州方面の問い合わせも増えてきている。
		遊園地(経営 者)	来客数の動き	・8月後半の2回の台風の前までは天候が良く、ま た、山の日効果もあり、非常に悪かった前年と比較 して大きく好転している。ただし、単価は弱含んでい る。
		その他サービス 〔自動車整備 業〕(経営者)	単価の動き	・夏の需要は依然として高く、来客数、販売額、商品 単価共に好調である。
		変わらない	商店街(代表 者)	単価の動き
商店街(代表 者)	販売量の動き		・月前半は人出も多かったが、後半は天候の悪化によ り客足が伸び悩み、物販店のみならず、飲食店におい ても苦しい月となっている。また、月前半の夏祭り では来訪者が前年を上回ったものの、商店街の各店舗 においては、売上の増加にはあまり貢献していない様 子である。	
商店街(代表 者)	来客数の動き		・好天の日が続いており、メインイベントである夏祭 りやそれ以外でも観光客の動きが良く、来客数も増え ている。ただし、客単価が若干低下していることが気 になっている。	
商店街(代表 者)	来客数の動き		・地元商店街のイベントなどにおいても、来客数に大 きな変化がない。	

一般小売店〔カメラ〕(店長)	販売量の動き	・販売量は横ばいで推移しているものの、高額商材の動きが悪く、売上が伸びない状態が続いている。
百貨店(総務担当)	来客数の動き	・8月は、例年であれば夏休みやお盆の帰省などにより来客数が増えるが、買物よりもレジャーに行っているのか、なかなか来客数は増えていない。百貨店で買物をすることが減ってきているのか、子ども向けのイベントでもなかなか集客ができていない。
百貨店(営業担当)	お客様の様子	・今年の夏は猛暑日が続いたが、食品の購買の動きはまずまずである。ただし、衣料品は苦戦している。
百貨店(買付担当)	お客様の様子	・客の購買意欲が、高い時と低いときが交互にきており、平均すると変化がない状態である。
スーパー(経営者)	来客数の動き	・8月は曜日の配列が悪く、既存店の来客数は前年を下回っている。ただし、同じ曜日で比較すればほぼ前年並みとなっている。
スーパー(経営者)	単価の動き	・月前半は芳しくなかったが、後半に戻ってきている。そのため、8月の平均1品単価は下げ止まった感があるが、いまだ前年を3%ほど下回っている。また、買上点数も前年を上回ったが、既存店の来客数は戻っていないため、全体的に変化はない。
スーパー(営業担当)	販売量の動き	・来客数、1品単価共に微増しているが、買上率の減少により売上はほぼ横ばいである。また、山の日の影響で売上が分散したため、お盆商戦も期待したほどの伸びがみられていない。
スーパー(営業担当)	販売量の動き	・今年の7~8月は、曜日の並びによる売上の変動が大きい。また、今年新設された山の日も売上に大きく影響を与えており、7月は前年を2.5%上回った売上が、8月はその分マイナスとなっている。
コンビニ(経営者)	来客数の動き	・ここ2~3か月はあまり変化がないが、人はそれなりに動いている。ただし、8月は天気が良かったものの、お盆の時期の来客数は以前と比べて鈍い状態である。
コンビニ(経営者)	来客数の動き	・来客数は、ほぼ前年並みで推移している。
コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・今月になって来客数の増加傾向が鈍化しており、ほぼ前年並みで推移している。
衣料品専門店(経営者)	単価の動き	・中元商戦では、予算に近い売上となったものの、送料の負担が大きく、利益は減少傾向にある。
衣料品専門店(店長)	お客様の様子	・残暑で夏物セール品が動いている反面、秋物商材の立ち上がりが遅い。そのため、売上が確保できて利益の確保が厳しい状態である。
衣料品専門店(店長)	販売量の動き	・前年と比較して夏の礼服の需要が少なく、また、クールビス関連商品の買い足しも少ない。
衣料品専門店(総務担当)	お客様の様子	・端境期であり、セール商品、新規商品共に動きが悪く、前年比90%の状態が続いている。
家電量販店(店長)	来客数の動き	・少子高齢化の影響もあり、来客数が減少している。景気の刺激対策も効果はない。
家電量販店(店長)	販売量の動き	・夏商戦は不振であり、扇風機など季節商材の前年比は、約6割まで落ち込んでいる。8月前半は梅雨明けで出足が良かったが、お盆前から前年を下回る状況が続いている。オリンピック需要で、テレビを中心にやや前年を上回った商品もあるが、全体としては前年比が10%以上落ち込んでいる。
乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・ここ数か月間、土日祝日の客の動きに全く変化がない。
住関連専門店(経営者)	販売量の動き	・特別注文の家具を製造しているが、3か月前とあまり変わらない販売量となっている。
その他専門店〔酒〕(経営者)	来客数の動き	・お盆の帰省客による飲食はまずまずであるが、店頭定番商品が振るわず、全体的に落ち込んでいる。
その他専門店〔靴〕(従業員)	販売量の動き	・サンダルなどの夏物の動向が悪いままである。特に女性物の商品は全般的に売れていない。月後半の雨や台風で長靴が少し動いたものの、かなり厳しい状態である。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕(営業担当)	販売量の動き	・石油製品の荷動きが悪い。復興関連の需要は一段落しており、ガソリンなどの需要も思惑通り動いていない。総じて低調な商いとなっている。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕(営業担当)	販売量の動き	・燃料油の販売量に大きな変化はなく、前年割れの状態が続いている。

高級レストラン (支配人)	お客様の様子	・周辺の祭りやイベントにより、ディナーの来客数と売上は増加しているものの、ランチは全体的に伸び悩んでいる。しかし、全体としては前年並みの収入を確保することができている。店舗周辺の客が消費しない分、来県者の消費で補った月となっている。	
一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・ネットで安くて良い物の情報を探す客が増えてい る。飲食に関しても同じレベルの内容なら、多少遠く ても観光を兼ねて足を伸ばすという話を良く聞く。そ のため、県外から来る客もいるものの、地元の客は県 外に食べに行って地元で経済効果を生まなくなってい る。	
観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・ここ数か月は来客数の前年割れが続いており、景気 は良くなっていない。	
観光型旅館(経 営者)	来客数の動き	・客が動く時期のため、平年並みに推移しているもの の、景気が上向いてきているとはいえない。	
都市型ホテル (スタッフ)	それ以外	・前月と比較して、フリー客の減少は下げ止まりつつ ある。先の予約は芳しくない状態が続いているもの の、底堅く推移している。	
旅行代理店(経 営者)	販売量の動き	・販売量は、団体旅行も個人旅行も同じような動きで 推移している。	
旅行代理店(従 業員)	お客様の様子	・想定よりも個人客の伸びが少ない。テロや天候など に左右される要素が多く、特に海外旅行の受注が伸び 悩んできている。	
通信会社(営業 担当)	お客様の様子	・お盆需要による消費の大幅な上昇はないものの、多 少は良くなっていることから、景気の下げ止まり感が みられている。また、雇用率も上向きではあるが、業 種間で差があり、特に中小企業の雇用が不安定な状況 が続いている。	
通信会社(営業 担当)	お客様の様子	・取引先の販売量は、横ばいで推移している。	
通信会社(営業 担当)	お客様の様子	・顧客の設備投資意欲に変化がみられない。	
通信会社(営業 担当)	お客様の様子	・ここ3か月は、新規加入者数が少なく、解約者の数 を下回っている状況に変化はない。また、低価格で新 しいサービスなどについても、興味を示す客は少な い。	
通信会社(営業 担当)	お客様の様子	・値下げ要求ばかりが多く、新規売上が増えていな い。	
通信会社(営業 担当)	お客様の様子	・客は相変わらず価格を優先している。	
観光名所(職 員)	来客数の動き	・フリー客の来客数はほぼ前年並みであるが、予約が 必要な団体客が大分落ち込んでいる。そのため、フ リー客を当てにしながらの営業となっている。	
観光名所(職 員)	来客数の動き	・8月前半はオリンピック観戦で出控えていたのか来 客数の動きは鈍かったが、山の日からお盆期間にかけ ては例年並みで推移している。	
競艇場(職員)	単価の動き	・単価の動きに変化はなく、来客数もさほど変わって いない。	
美容室(経営 者)	来客数の動き	・状況に変化はない。	
住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・60歳代の資産整理に伴い、中古物件として売買する ためのリフォーム工事が増えている。	
その他住宅[リ フォーム](従 業員)	来客数の動き	・売上は前年を上回っているもの、問い合わせなどの 受付件数は前年を大きく下回っている。	
やや悪く なっている	商店街(代表 者)	来客数の動き	・朝晩の通勤以外は、人通りがまばらである。
	一般小売店[医 薬品](経営 者)	来客数の動き	・客単価も良くないが、それ以上に来客数が落ち込ん だまま回復しない状態が続いている。前年は業績が継 続的に改善し、震災で移転した店舗もようやく軌道に 乗ってきたが、この半年で震災後の悪い状態に戻っ てしまっている。また、今回の継続的な業績悪化につ いては、はっきりとした原因がつかめていない。
	百貨店(売場担 当)	お客様の様子	・今月の売上は、曜日配列の悪さも大きく影響してい るが、前年と比較して、秋物の動き方、客の買物の鈍 さが目立っている。秋物も、実際動いている商材は今 着ることのできる軽衣料が中心であり、単品買いのた め客単価も上がっていない。
	百貨店(経営 者)	販売量の動き	・夏のセール商戦が長く続かず、客からも価格に対し てシビアな姿勢がみられている。

スーパー（店長）	販売量の動き	・ 8月は前年より日曜日が1回少ないため、月の営業成績は前年を下回っている。また、曜日を合わせた前年比でも、5～6月と比較して売上は約2%減少している。	
スーパー（店長）	販売量の動き	・ 売上は今のところ前年比98.5%で推移している。そのため、若干景気が悪いという印象である。	
スーパー（店長）	お客様の様子	・ 節約志向の高まりが更に加速してきている。	
スーパー（総務担当）	来客数の動き	・ 来客数、客単価、買上点数、1品単価、すべてが前年を下回っている。なかでも来客数の減少が大きい。	
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・ 来客数の前年比のマイナス幅が、直近の3か月と比較して大きくなっている。前年との気候の差も理由の一つではあるが、お盆の時期以外で前年との差が縮まらない理由は、単純に人口が減ってきているからではないか。	
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・ 来客数の前年比が減少している。この傾向は3か月前と比較しても更に加速している。	
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・ 例年であれば、お盆期間中は多くの帰省客が秋物商材を購入していくが、今年は帰省客の来店が激減している。	
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・ 夏祭りやお盆が終わり、今一つ盛り上がりには欠けている。	
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・ 受注量が、前年を下回ってきている。	
高級レストラン（経営者）	お客様の様子	・ 客の財布のひもは非常に固く、会社も交際費などを削っている様子である。	
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ 夏場は飲食店の繁忙期であるとされているが、ここ数年は全くそのようなことはなく、むしろ来客数は減少している。2～3か月前と比較しても来客数の減少は明確であり、特に夜間はかなり減少している。大変厳しい状態である。	
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ 忙しい時とそうでない時の落差が激しく、トータルでも来客数はやや落ち込んでいる。ただし、忙しさもあまり大きなものではない。	
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ 1人当たりの単価はあまり変わらないものの、来客数が特に悪く、売上也伸び悩んでいる。客からもあまり良い話はなく、同業他社も苦戦している様子である。	
観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・ お盆期間中の宿泊予約の伸びが前年よりも鈍い。	
観光型旅館（スタッフ）	単価の動き	・ 宿泊人数や客室稼働は前年より上回っているものの、売上は減少している。料理やサービスの内容よりも、まずは価格ありきの流れであり、客のふところには、春風ではなく秋風が吹いている。	
都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・ ホテルの宴会部門としては、同窓会が非常に多い月である。しかし、今年は集まりが悪いのか前年を下回っており、今一つ盛り上がりにかけた月となっている。	
都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・ 宿泊の稼働率の前年比は、毎月低迷状態が続いている。この先も回復することは期待できない。また、宴会も同様に前年を下回っている。	
タクシー運転手	来客数の動き	・ 昼も夜も来客数が少なく、売上也減少している。	
悪くなっている	一般小売店〔書籍〕（経営者）	来客数の動き	・ 書店業界ではオリンピックの時は売れないといわれている。特に今年の7～8月は、来客数、客単価、販売量共に、著しく悪い数値となっている。
	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	お客様の様子	・ 地元の大きな祭りとお盆の時期は前年並みで推移したものの、お盆以降が非常に悪くなっている。オリンピックでテレビに釘付けとなった客が多かったことと、大きな台風が2回も来たことも要因のひとつである。
	百貨店（売場主任）	販売量の動き	・ 台風の影響で週末の来客数が減少したことも要因としてはあるものの、それ以外の日でも、ある程度の来客数があるにもかかわらず、マークダウン商品やセール商品に対しても慎重な買い方が目立っている。単価低下とともにまとめ買いも減少しており、必要以上の買物を控える傾向がより強くなってきている。
	スーパー（経営者）	お客様の様子	・ 消費者の節約志向が強くなっている。競合他社の状況をみても、価格のデフレ傾向が顕著に表れている。

		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・地下鉄新規路線開通の影響により、8月の最大イベントである花火大会では、親子連れが減少している。また、お盆も山の日が休日が増えたことで長期連休となり、来客数が大幅に減少している。
		衣料品専門店（経営者）	競争相手の様子	・取引先の間屋や同業者が廃業するなど、あまり良い話がない。
		住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・商店街を歩く人が少なくなっており、それに連動して来客数も大きく減少している。
		その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	販売量の動き	・めりはりの効いた季節ほど商売は良くなる。しかし、今年は暑い夏となったものの、良い影響が何もない。業界的にも新規の案件はほとんどなく、既存の顧客も夏物を買って控えている。
企業 動向 関連  (東北)	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		電気機械器具製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・大口顧客の半導体製品価格が回復しつつあり、業績にもその影響が表れてきている。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・大きな変動もなく、燃油費も安定している。
		金融業（広報担当）	取引先の様子	・取引先企業のなかで、業務内容の拡大や新規事業参入を企図した設備投資の動きがみえ始めている。
	変わらない	農林水産業（従業者）	受注量や販売量の動き	・7月に前年を下回っていたお中元、贈答用ものの注文数は、8月初旬には前年並みとなっている。
		農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・依然として農産物価格の低迷が続いているものの、燃料、農業資材などの価格は、若干下がってきている。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・夏祭りの期間は前年より入出は多かったが、商品が冷蔵品ということで、暑さも重なり動きはあまり良くない。逆にお盆の帰省のお土産はよく動いたが、全体としては前年を上回ることができていない。
		食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・販売量の前年比4～5%減という状況が続いている。新商品の売上でも既存品の落ち込みをカバーするには至らず、苦戦している。
		木材木製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・住宅部材の需要にばらつきがあり、収益が好転しない。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・情報誌を発行しているが、広告の注文が少ない。
		出版・印刷・同関連産業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・売上については、8月とその3か月前の前年同月比がほぼ横ばいで推移している。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量は横ばいで推移しており、改善はみられていない。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・8月は、前半に受注がある程度あったものの、後半は少なくなっている。
		建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・上半期に公示された大型公共工事の受注者が確定してきている。
		建設業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・手持ち工事の繁忙度の高い状態が続いている。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・顧客が契約の更新の際に他社へと切替える案件が増加傾向にある。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・投資よりも経費削減に重きが置かれている。
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・低金利に嫌気が差し、投資家は少しずつ動き出している。
		広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・4月以降、じわじわと発注量が減っている。そういう意味では3か月前と状況は変わらない。
		広告代理店（経営者）	取引先の様子	・取引先の発注の動きにスピード感がなく、様子見が続いている。
		公認会計士	取引先の様子	・小売業関係は、売上の前年比が減少傾向にあるものの、利益は確保している。建設業も売上の前年比が減少しているが、利益を確保している企業が多く、景気に大きな変化はない。
コピーサービス業（従業員）		受注量や販売量の動き	・売上に変化がなく、ほぼ横ばいで推移している。	
その他企業〔企画業〕（経営者）		受注量や販売量の動き	・相変わらず案件数が少なく、予算の縛りも厳しい状況が続いている。同業他社も同じ状況で、少ないパイを廉価で請け負っている。取引先からは提案して欲しいと言われるが、それはリップサービスでしかない。	
やや悪くなっている	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・お土産を購入する客が若干減少しており、販売量、売上共に前年を下回っている。	

	経営コンサルタント	取引先の様子	・夏祭りや夏の商戦が終わり、季節のはざまに差し掛かっている。
	その他非製造業 [ 飲食料品卸売業 ] ( 経営者 )	受注量や販売量の動き	・以前より販売量は2～3%ほど良くなっている。しかし、単価は低下しているため、全体的に売上が減少しており、比例して利益も落ち込んでいる。
	その他企業 [ 工場施設管理 ] ( 従業員 )	取引先の様子	・取引先では売上が伸び悩んでいる様子である。
	悪くなっている	広告業協会 ( 役員 )	それ以外 ・オリンピックの期間は広告主の動きが少なく、新聞広告は大きく落ち込んでいる。また、テレビ局もスポットの空き枠がなくなるのではないかとみていたが、動きは全く弱含みで推移している。折込広告は特に影響が大きい。
雇用 関連  ( 東北 )	良くなっている	人材派遣会社 ( 社員 )	求人数の動き ・7月に国政選挙の特需があったため、一過性ではあるものの単月の売上は3割増で収束している。また、9月の受注が増加しているため、3か月前と比べて良くなっている。
	やや良くなっている	-	-
	変わらない	人材派遣会社 ( 社員 )	求人数の動き ・中小企業の求人活動が活発である。特に外食産業、塾業界、商社などで、求人活動が活発化している。
		人材派遣会社 ( 社員 )	求職者数の動き ・求職者数の横ばいが続いており、求人とのミスマッチも多い。
		人材派遣会社 ( 社員 )	求人数の動き ・繁華街の景気低迷が続いている。この夏も来客数が伸びず、中小店舗、個人店舗を中心に閉店する店は相当数となっている。
		人材派遣会社 ( 社員 )	求人数の動き ・求人数の増加傾向が継続している。特に営業職やITエンジニア、組み込みエンジニアなどが顕著である。
		新聞社 [ 求人広告 ] ( 担当者 )	それ以外 ・復興需要の減少や個人消費の低迷など、景況感の停滞した状態が続いている。
		職業安定所 ( 職員 )	求人数の動き ・前月にマイナスとなった新規求人数の前年比は、今月はプラスに転じている。しかし、有効求人数はマイナスが続いている。
		職業安定所 ( 職員 )	雇用形態の様子 ・求人倍率の高さは継続している。ただし、労働力人口の減少が最大の要因であり、また、非正規の求人も多い。
		職業安定所 ( 職員 )	求職者数の動き ・新規求職者が減少していることもあり、有効求人倍率は前年同月を0.11ポイント上回っている。特に建設、介護、看護、保育、保安の人手不足が顕著である。
		職業安定所 ( 職員 )	採用者数の動き ・就職件数が、前年と比較して1割以上も減少している状況が続いている。求人全体の充足状況も2割程度であり、なかなか思うように人材確保ができていない状況が続いている。
		職業安定所 ( 職員 )	求人数の動き ・新規求人数は前年同月比5%強の微減となっている。しかし、月間有効求人数は7%台の増加と緩やかな増加傾向を示しており、求職者数も前年同月と比較して減少傾向となっている。このため、有効求人倍率は4か月ぶりに1.2倍台となったが、求人全数が多い傾向は大きく変わらず、求人からみた景況感に大きな動きはない。
		職業安定所 ( 職員 )	求人数の動き ・新規求人数、有効求人数共に前年比の減少が続いているものの、有効求人倍率の前年比は上昇している。
		職業安定所 ( 職員 )	求人数の動き ・求職者の大幅な減少に伴い、有効求人倍率は高水準で推移している。しかし、新規求人数及び有効求人数は減少傾向にあり、明るい兆しはみえない。
		学校就職担当者	求人数の動き ・求人獲得数の前年比は微増で推移しており、大きな変化はない。
	やや悪くなっている	人材派遣会社 ( 社員 )	求人数の動き ・例年の傾向ではあるが、夏季休暇前のため求人数が減少している。
		アウトソーシング企業 ( 社員 )	それ以外 ・例年8月は仕事が減る時期ではあるが、今年は特に民間からの受注が減っており、いつもより苦戦している。
		新聞社 [ 求人広告 ] ( 担当者 )	求人数の動き ・オリンピックの開催時期はものが動かない、というジンクスは今回も生きており、求人広告を含めた広告動向が8月に入りぴったりと止まってしまっている。これが一過性のことであれば良いのだが、オリンピックが終わっても動きが戻っていない。
	悪くなっている	-	-